



校長室だより 足立区立第九中学校

第125号 令和2年2月21日発行 長塚琢磨

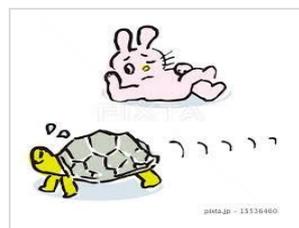


【令和元年度もあと一月！ 1日1日を大切に！】

生徒たちは、4月から授業、学校行事、部活動など、多くの有意義な経験をして、その中で頑張り、大きく成長してくれたと考えています。

いよいよ、2月27・28日は令和元年度の最後の定期考査(5科)です。これまで学んできたことを振り返るとてもよい機会ですので、ご家庭でも家庭学習に真剣に取り組むようアドバイスや支援をお願いいたします。

文化・スポーツなど、どの分野においても、知識や技能を習得し、新たな自分を開発するためには、繰り返し練習することが必要であると言われています。九中生ならきっと達成できます。



【第九中学校の取組を振り返る！ 日頃の教育実践の成果！】

この1年間を振り返ると、「体力向上」「交通安全」「人権教育」「社会を明るくする運動」と様々な場面で、多くの学校賞をいただきました。これらは、生徒や教職員の頑張り、保護者や地域の皆様の協力による取組で、生徒が心身ともに健康であることが高く評価された結果であると考えます。

第九中学校として誇りに思うとともに、今後もさらに進化・発展させていく必要があると考えています。保護者や地域の皆様には、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



体力向上優秀校賞



交通安全感謝状



「人権作文コンテスト」学校賞



「社会を明るくする運動」学校賞

【3月に贈る詩】

悩みながらも自らを成長させる九中生の「素敵な未来」を期待し、この詩を贈ります。

自分を輝かそう
人生は死ぬことじゃない
生きることだ
これからの者は
なによりも生きなくてはならない
自分自身を生かさなくてはならない
たったひとりしかない自分を
たった一度しかない人生を
本当に輝かし出さなかったら
人間
生まれて来たかいがないじゃないか

山本有三

【平和を考え、素敵な社会を共につくろう！】

昭和 20 年 3 月 10 日に東京大空襲があり、10 万人もの尊い命が失われました。東京都では、3 月 10 日を「東京都平和の日」と定め記念式典などを行っています。この日の午後 1 時に、東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、世界の恒久平和を願い 1 分間の「黙とう」を実施しています。



この機会に、平和について深く考え、毎日の生活の中で誰もが安全で安心して生活できるように自分のできることを積極的に行っていくよう生徒たちに話していただければ幸いです。

【地域講演会で学ぶ「体と心の相関関係」！】

2 月 7 日（金）午後 6 時 30 分から、開かれた学校づくり協議会主催の地域講演会が L ソフィアで開催され、「よりよく生きる」をテーマに、食・栄養の側面から体と心の相関関係を知る大切さを学びました。



講師の小関禮子先生は、バランスよい食事やコミュニケーションが、学習意欲や体力、気力の向上につながることを話してくださいました。

食生活を大切にすることが、心身ともに健康で豊かな生活につながることを学び、毎日の生活で実践していこうと考えました。保護者の皆様もお子様の食生活へのご指導をお願いいたします。

【令和2年度に向けて！ -開かれた学校づくり協議会で検討-】

2 月 4 日（火）午後 7 時から開かれた学校づくり協議会が開催されました。本年度の取組について振り返り、課題を明確にして次年度の第九中学校の教育について検討を行いました。下に概要をお示ししますので、ご意見等がございましたらご連絡いただければ幸いです。学校・家庭・地域の協働で、素敵な生徒を育てていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

令和2年4月1日
足立区立第九中学校長
長塚 琢磨

令和2年度 第九中学校の学校経営計画について(概要) (案)

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

生徒行動指針 (校訓)

慮く
自分自身のよさを見だし、向上していく。

挑む
できないことや新しいこと等に立ち向かっていく。

思いやる
自然の違いを認め、尊重する心を育む。

教職員指導指針

「やさしく厳しく指導する」
生徒がわかるまで、できるまで指導する。
「組織で職務に当たる」
報告・連絡・相談を密にし、組織で仕事を推進する。

基本的な考え方

【学校経営の3つの柱】

- 学力向上
- 健全育成
- 体力向上

小中一貫教育による
活力ある子どもの育成

- 義務教育の最終段階として生徒を自立させる指導
生徒が自己のよさを知り、自主・自律した行動により自己を高め、自分にあった課題を切り拓く力の育成が必要である。
- 自ら「わかる・できる」授業づくりと家庭との連携強化
授業改善と学校と家庭が連携した指導で、生徒が意欲をもって学ぶ態度を育成する必要がある。
- 発達段階にあった指導の充実
小中一貫教育の視点に立った連続的・体系的で、きめ細かな指導が必要である。

学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月
九中	2.6	18.4	31.6	16.6	16.2	10.6
八中	11.8	27.3	32.4	14.7	14.7	14.7
八小	19.9	25.6	34.3	17.2	17.2	17.2

朝日で脳がリセット
スクヤモンの育育・発達自律

指導の重点と主な取組「活力ある生徒の育成」

指導の重点	主な取組内容
学力向上 基礎学力の定着と主体的に学ぶ態度を育成し、自ら課題を発見し解決する人材を育成する。	学力調査の分析、強かな学力の定着、主体的に学ぶ態度の育成、学習カウンセリング、ESL（エクストラ・サポート・レッスン）、サマースクール、関係機関との連携、各種検定の推進、読書習慣・学習習慣の確立 など
豊かな心の育成 思いやる心や運動意欲を育み、活力ある明るい生徒を育成し、自己有用感や自覚感度を高める	人権教育の推進、自己肯定感の向上、いじめ・不登校防止対策の充実、挨拶や礼儀・マナーの推進、道徳教育の充実、生徒の主体的な取組、社会貢献活動の推進 など
体力向上 すべての活動の源である体力の向上を図り、健康・安全で豊かな生活を送る基礎を育む。	オリンピック・パラリンピック教育の充実、生活習慣や運動習慣の確立、部活動の推進、食育の推進、保健体育科等の授業改善、健康・安全教育の推進 など
小中一貫教育の視点に立った指導の充実 義務教育9年間で体系的・系統的な指導を充実し、次代を担う活力ある児童・生徒を育成する。	発達の段階を踏まえた学力や規範意識の育成、小中合同研究・研修による指導力向上、小学生の中学校体験の充実、中学生による夏季休業中の小学生補習学習の支援 など
指導体制の充実 必要な支援を検討し、学校・家庭・地域のチームで教育する仕組みづくりと指導の充実を図る。	特別支援教室の設置と指導の充実、学校・家庭・地域の連携強化、開かれた学校づくり協議会等の充実、若手教員育成とOJTの充実、HP・各種便り・公開授業 など